

民営化で更なる発展を期待



▲絵に描いた保育園の看板を張替える園児たち

●鷹巣東保育園移管式

鷹巣東保育園の民営化に伴う移管式が、3月12日に同園で行われ、園児や保護者など約100人が出席し新たな子育て施設の発展を誓い合いました。同園は、北秋田市保育園等整備計画に基づき4月から民営化となり、秋田県民生協会（佐藤修助理事長）が運営します。移管書を佐藤理事長に交付した津谷市長は「子どもたちがすくすくと成長できるように最大限のご尽力をお願いします」とあいさつ。佐藤理事長は「元気で伸び伸びと成長できるよう頑張りたい」と決意を述べました。このあと園児たちが元気に歌を披露し、「保育園をよろしく願います」と呼びかけ、新たなスタートを祝いました。

まちを幻想的に演出



▲阿仁異人館のテラスで歌を披露する、秋田大学の音楽サークルの皆さん

●スノーキャンドルストリート in あに

「第11回スノーキャンドルストリート in あに」が、2月20日に阿仁合駅前などを会場に開かれ、大勢の人が幻想的な雪景色を楽しみました。沿道には、ろうそくを灯したミニキャンドルホルダーが並び、駅前などには雪像にろうそくを灯した「スノーマウンテン」も作られ、訪れた人は、雪明かりに包まれた会場を巡りながら写真を撮ったりしていました。また、阿仁異人館は、秋田大学北秋田分校デザイン部の青と白のLEDを使ったイルミネーションで飾られ、テラスではミニライブが行われたほか、花火も打ち上げられ、音と光でイベントを盛り上げました。

家庭の自慢の漬物を一堂に



▲試食しながら、お気に入りの商品を買求める来場者

●ムラのがっこ市

大阿仁地域のお母さん手作りの漬物や保存食を販売する「ムラのがっこ市」が、2月21日に道の駅「あに」で開かれ、大勢の買い物客でにぎわいました。がっこ市は、地域の活性化と生きがいづくりを目的に活動している大阿仁地域活性化ワーキング組（松橋悦治組長）が、昨年に続き開催したものです。販売所には、山ブドウ漬をはじめ、かぶや白菜などを使った各家庭自慢の漬物のほか、伝統食の「ナッツ」やぜんまいの水煮など約30種類が出品されました。訪れた人たちは、試食して味の違いを確かめたり、作り方などを教えてもらったりしながら、お目当ての商品を買っていました。

燃え盛る御神木に祈願



▲「おーい、かまぐらの権五郎ー」と叫ぶ地元の子どもたち

●葛黒火まつりかまくら

七日市の葛黒集落に伝わる小正月行事「火まつりかまくら」が、2月21日に葛黒集落で行われ、多くの見物人が訪れました。この行事は、燃え盛る御神木を火の神「不動尊」になぞらえて無病息災や無火災、五穀豊穡を祈願するもの。今年、葛黒火まつりかまくら実行委員会（堀部明博実行委員長）を組織して開催されました。午後6時、ミニかまぐらの火がやさしい光を放ち幻想的な雰囲気広がる中、御神木に点火されると、見物人は大きな声で「おーい、かまぐらの権五郎ー」と何度も叫びました。燃えた木は切り分けられ、今年1年間の無事と豊作を祈り、来場者が持ち帰りました。

技術の高い作品が勢揃い



▲レベルの高い作品に感心しながら採点する審査員

●山の芋料理コンクール

J A 鷹巣町主催の第10回山の芋料理コンクールが、2月22日に中央公民館で開かれ、趣向を凝らした様々な山の芋料理が出品されました。コンクールには、J A 組合員のほか料理自慢の市民などから、料理部門に23品、加工部門に24品の合わせて47品が出品され、市や消費者の会、J A、飲食店など7人の審査員が試食し、見栄え、食味、アイデア性や素材の有効性について審査しました。各テーブルには、盛り付けにも配慮した彩り豊かな創作料理や、菓子職人が作ったかのような技術の高いスイーツも並び、審査員は、創意工夫された作品の出来栄に感心しながら採点していました。

将来の姉妹校締結に向け交流



▲人気アニメのダンスを披露する、龍譚高級中学の生徒

●龍譚高級中学一行が秋田北鷹高校を訪問

日本の高校にあたる台湾の国立龍譚高級中学の一行39人が、2月23日に秋田北鷹高校（佐藤清悦校長、生徒数725人）を訪れ、授業や部活動体験などを通じて交流を深めました。体育館で行われた歓迎セレモニーでは、吹奏楽部が「浜辺の歌」など3曲を演奏。龍譚高級中学の生徒たちは、バンド演奏やダンスを披露し会場を沸かせました。また、だまこ鍋づくりや書道、音楽、体育、農業の授業を体験し、雪遊びも楽しみました。この日は、将来の姉妹校協定締結に向け交流することを内容とした覚書の調印式も行われ、両校の校長が署名したあと握手を交わし、今後の交流を誓いました。